

令和4年度 第2回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和4年10月25日(火) 午前10時から午後0時10分まで

2 場 所 日立市役所 研修室

3 出席者

(1) 委員

平田委員長、泉副委員長、櫛田委員、稲川委員、皆川(摩)委員、小峰委員、福森委員、弓野委員、石川委員、皆川(泰)委員

(2) 事務局

- ・総務部 渡邊部長、佐藤次長、瀬和企画員
- ・行政マネジメント課 片岡課長、鈴木副参事、日下部主幹

4 会議内容

次第3 委員長及び副委員長選出

【事務局】 事務局案により、委員長に平田委員、副委員長に泉委員を選出した。

議題(1) 行財政改革大綱(第8次計画)の令和4年度上期の推進状況について

【事務局】 — 資料1の総括部分(P1～P12)に基づき説明 —

発言者	発言内容等
【No.5 柔軟な働き方に向けた取組】	
委員	働き方について、コロナ禍における時差出勤やテレワークを進めてきた中で、実績を見ると時差出勤やテレワークは実施が難しい印象を受ける。一般企業においても、業務の都合により全員が対応できるわけではないが、市は今後(第9次計画)どのように進めていくのか。
事務局	コロナ禍で始まったテレワークの現状は、昨年度と比較しても減少傾向にあるが、公務員はエッセンシャルワーカーに位置付けられているため難しい部分もある。しかしながら、制度は維持しながら柔軟な働き方として取り組めるよう、必要に応じて実施していく。 ※ エッセンシャルワーカー 人々の生活にとって必要不可欠な労働者のこと。 (分野：医療、公務員、介護・保育、金融、小売店、運輸・物流など)
【No.8 タブレット端末の有効活用の推進(拡充)】	
委員	コロナ禍で職場の打合せやセミナーもZoomを活用したWeb会議で実施する機会が増えたが、まだまだ紙媒体の資料が多い。また、自席でPCを利用することが多いため、今回、タブレット端末を利用した会議に参加し、タブレット端末で移動しながら実施できるペーパーレス会議を是非取り入れたいと感じた。

発 言 者	発言内容等
【No.37 食品ロスの削減に向けた取組】	
委 員	フードバンクについて、物価高によってなかなか集まらないという声を聞いたが、もっと集め方を工夫してはどうか。様々な会議の場やイベントでもっとPRしたり、企業や市民へ呼び掛けることによって、困っている方を助けることができると思う。
【No.39 民生委員・児童委員活動への支援】	
委 員	民生委員のなり手不足について、民生委員とはどんな仕事でどんな資格が必要か、どのくらいの時間が必要かなど、仕事の内容を紹介できるパンフレットがあると声を掛けやすくなる。
事 務 局	民生委員は仕事がハードな部分や、介入されることを望まない方が増えているといった現状もあり、なり手確保が難しい中で、まずは民生委員を知ってもらうことを念頭に担当課と調整していく。
副 委 員 長	民生委員・児童委員は、幅広く誰でもお願いできるわけではなく、経歴等を考慮したうえで声掛けを行っている。今後は、募集時期を限定せずに、毎月定期的に募集を行っていくと聞いている。
【No.58 上下水道事業の安定的なサービス提供に向けた取組（継続）】	
委 員	会社の近くで上下水道の耐震化工事が行われているが、東日本大震災で水が不足した経験もあるので、今後の災害対策を踏まえ、耐震化工事は進めてもらいたい。
事 務 局	市全体の公共施設については、優先順位を定め順次、耐震化工事を進め、ライフラインについても、安定的な供給ができるよう耐震化を進めていく。
【No.60 コミュニティ活動への支援体制の充実】	
副 委 員 長	9月30日の「くさゼロの日」に活動を実施したが、上期の取組か。
事 務 局	上期の取組なので、76ページに記載の活動内容を、総括にも記載する。
【No.62 市報配布の在り方の検討と見直し】	
委 員	自治会も高齢化する中で、これまで配布が大変だったところ、全戸配布に向け整理されたということで、大変有り難い取組だと感じた。
副 委 員 長	町内会併用ポスティングの単会は、町内会の高齢化によりポスティングが難しくなってきたという声が上がっている。将来、配布する人が不足する場合は、単会ポスティングや町内会併用ポスティングに事業者ポスティングを組み入れる制度の検討をお願いしたい。

その他

発言者	発言内容等
【オンライン授業について】	
委員	新型コロナの影響により、小中学校でオンライン授業が始まった。体調が悪いときは登校せず家でオンライン授業を受けることができるため、親として、子どもの勉強が途切れないことは有り難い。
委員	これまでは、子どものタブレット端末によるオンライン授業に関して、姿勢や視力の面から健康被害を危惧して否定的だった。しかしながら、タブレット端末による会議を実際に体験して、分かりやすさもあり、授業のICT活用は良いことだと感じた。
事務局	庁内においても、タブレット端末によるペーパーレス会議やWEB会議が浸透してきており、紙の削減や時間の短縮につながっている。
【行財政改革の取組の周知について】	
委員	日立市の行財政運営について、今日の第8次計画の説明を受け、多岐にわたる取組を行っているが大変勉強になったが、これらの内容を、是非子どもたちにも知ってもらいたい。子どもたちに市の取組やお金の流れを分かりやすく伝えることで、行政運営に興味を持ち、ひたちの街に愛着が湧くだろう。それが、人口流出の抑制につながってほしい。
委員長	子どもたちに知ってもらいたいことに同意する。市民の意見を聞く貴重な機会としてパブリックコメントがあるが、どのパブリックコメントも形骸化して意見が少ないものが多い。公共（行政）に対する意識が低い中で、学校教育の一環に取り入れることによって、公共事業に対する興味も湧くだろう。行政もあきらめずに、よりPRに励んでもらいたい。
【市政の情報発信について】	
委員	ひたちナビを利用しているが、プッシュ通知が来なくなってしまうたり、更新頻度が下がったり、導線が分かりづらく見たいページにたどり着かなかったりする。また、桜更新プロジェクト以外のクラウドファンディングも知らなかった。「ひたち若者ががやき会議」のメンバーに協力してもらおうなど、SNSを活用して若者の誘客につながるよう、工夫したPRが必要だと思う。
事務局	ひたちナビは、令和元年度から導入しており約1万5千件の登録がある。知りたいジャンル情報がプッシュ通知で届くという強みがあるが、情報量や使い勝手の悪い部分はデジタル推進課に伝える。 情報発信については、第9次計画の重点項目の一つに設定しており、市民の方に伝わりやすい市政・行財政運営を進めていく。
【フリーWi-Fiスポットについて】	
委員	日立市は、フリーWi-Fiスポットが少ないように感じるが、今後増やす予定はあるか。
事務局	現在、公共施設には順次「Hitachi Wi-Fi」を導入しているので利用していただきたい。

発 言 者	発 言 内 容 等
【第8次計画全体について】	
委 員	<p>全体的な意見として、第8次計画は推進項目が多いので、具体的な推進項目に絞ってもいいのではないかと感じる。総合計画に掲載している項目は除き、行財政改革に掲載する理由を明確にして項目に入れたほうが良いと感じる。総合計画をしっかりと進めるための下支えが行財政改革大綱であるため、次期計画は、人材育成・財政改革・市民との協働等についても、重複しないよう進める必要があるだろう。</p>
事 務 局	<p>行財政改革は、総合計画に掲げられた項目を効率的に推進するという観点で取り組むべきものであるが、まだ完全に総合計画との関係性は整理できておらず、次までには考えていかなければならない。事務局としても、推進項目を絞ることも検討したが、全庁一丸となって取り組むよう職員全員に行財政改革の意識を浸透させていきたい。</p>
委 員 長	<p>最上位に位置付けられる総合計画とそれを下支えする行財政改革大綱との線引きが曖昧であるため、行財政改革大綱が総合計画の抜粋に捉えられてしまう。</p>
【推進状況について】	
委 員 長	<p>おおむね順調に進んでいる第8次計画も残り半年となるが、今日のご意見を踏まえて改善できるところは取組に活かし、次の第9次計画につなげてもらいたい。</p>

議題（2） 行財政改革大綱（第9次計画）の素案について

【事務局】 — 資料2に基づき説明 —

発言者	発言内容等
【第9次計画へのご意見・要望・質問】	
委員	<p>全体的には新しい視点が入っていると思うが、先ほども申し上げたように市の総合計画がある中で、それをしっかり実行していくために行財政基盤を強固にしていけないといけない、だから行革で様々な施策をやる必要があるというロジックがどこにも書いてない。委員長の言う総合計画との関連性はそういうことであると思う。</p> <p>推進事項にある財政基盤を強固にするために市として取り組むことが、クラウドファンディングやふるさと寄附しかない。</p>
事務局	<p>現状として、硬直化する財政面は課題であり、経費削減を進めていきたい。寄附金の獲得が主な取組となっているが、それ以外にも業務の改善を行い経費削減できる取組を生み出していきたい。</p>
委員	<p>推進事項はわざわざ入れなくてもよいのではないかと。各職場が2,3個上げなくてはと出てきたものをただまとめているような気がするので、今回は出さない部があってもいい、というような濃淡があってもいいのではないかと。</p> <p>これからパブリックコメントを出すときに、日立市民がこれを見て、第9次計画はどこに力を入れていくのか分かりにくい。</p>
事務局	<p>全庁一丸で取り組むことを念頭に、各部で取り組めるものを出してもらいそのうえで本来の行財政改革のムリ、ムダ、ムラを無くすことを重視し、その中で重点項目として、基本方針に掲げている4項目が重要だと考えている。</p>
委員	<p>第8次計画の「No.36 日立駅前のにぎわいづくりの推進」は第9次計画に入っているのか。</p>
事務局	<p>「日立駅前」という切り口での継続ではなく、日立駅前には日立シビックセンターといった核となる文化施設があることから、「No.41 文化施設等の魅力向上（継続）」の項目で継続していく予定である。また、駅前地区の活性化については総合計画に掲載されている。</p>
委員長	<p>行財政改革大綱に記載がない取組も、総合計画やそれぞれの計画で進めているが、だからこそこの行財政改革推進会議で議論すべき項目を明確にしなければならないと思う。</p>
委員	<p>パブリックコメントの実施にあたり、4つの柱（本市を取り巻く状況）に対して、これまでの施策を踏まえ、今後はこういうことができるのではないかとといった意見を集めるためのベースを作っているという認識でいたが、最後の「No.58 消防職員の知識・技能の維持及び向上（継続）」については、仕事として当然のことであると感じる。</p> <p>そんなことよりも、もっと大きな4つの柱に関してできることを吸い上げて改革・マネジメントしていくものだと考えていたが、この場ではそういう議論ではなく、あくまでも各課から上がってきた取組の進捗を確認して、私</p>

	<p>たちが促すことが目的なのか、目的を理解していなかったので教えていただきたい。</p>
事務局	<p>消防の推進事項は通常業務ではないかというご指摘については、研修により研鑽を積むことで、市民サービスを向上させるという考えで項目を上げている。</p> <p>パブリックコメントは、事務局からの素案に対して、市民目線の皆さまの意見を反映させることを目的としている。</p>
委員	<p>デジタル化とあるが高齢者が多いことも分かっていると思うので、若者向けとあわせて高齢者に向けた情報発信の検討もお願いしたい。</p>
事務局	<p>第9次計画の「市政情報の発信方法の在り方検討」の取組として、情報格差とならないよう全ての方が情報に困らないという視点で進めていきたい。</p>
委員	<p>素案を見て、少なくとも私は全庁一丸となっているとは思えない。いろいろな部所が入っているのは分かるが、それは全庁一丸ではない。全庁一丸を前面に出すのであれば、中身を変えないといけないのではないか。中にはいい取組もあるので、そういう項目を残せばいいのではないか。</p>
副委員長	<p>消防に関しては、地域の防災の意識が高いが、今年度から防災士という資格を取るように各コミュニティに呼び掛けているが、消防士の方が防災士の資格を取得しやすいと思う。消防士の方に積極的に資格を取っていただいて、地域に貢献する形が良いのではないか。</p>
委員長	<p>総合計画との関係性を整理したほうがいいかは分からないが、「No.58 消防職員の知識・技能の維持及び向上(継続)」も重要でないわけではないし、やらなくてはいけないこと。他にもいろいろ深い取組をやっていると思う。ただ、行財政改革で取り上げて、ここで議論すべきことかどうかということ。</p> <p>全体を見直していただいて、最初の文章を直すのか、施策を吟味しなおすのか、分かるように修正してもらいたい。</p>
委員長	<p>【総括】</p> <p>本日の委員の皆さんの意見を総括すると、今回の素案で進めていいとの結論には至らなかった。指摘のあった項目を再度検討して、パブリックコメントに向けた準備を進めてもらいたい。</p>

・委員意見を踏まえ、事務局において資料を修正し、委員長の了承を得た。

【事務局】

- ・本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議で協議した後、市議会へも報告して意見をいただく。
- ・今回の会議の議事録については、ホームページで公表予定のため、事前に公表内容を各委員に確認していただく。
- ・再検討し修正した素案を、あらためて委員にご確認いただき、パブリックコメントを実施する。
- ・1月下旬頃、第3回行財政改革推進会議において最終案を示し、委員から意見をいただく。

以 上